



県内経済の動き

概況

〔7月～9月の動き〕

持ち直している。

生産活動は一進一退が続く。大型小売店の総販売額（8月全店ベース）は3カ月ぶりに前年を下回ったが、乗用車の販売台数（9月軽自動車を含む）が9カ月ぶりに前年比増加に転じるなど、個人消費にはやや明るい動きが見える。新設住宅着工戸数（8月）は3カ月ぶりに前年比増加し、公共工事（8月保証対象請負総額）も5カ月連続で前年を上回った。輸出額（8月細島港）は7カ月連続で前年比増加。有効求人倍率（8月:0.79倍）は前月比わずかに低下した。

県内経済は、一部に弱さが残るが、総じて持ち直している。

（黒木）